

インフルエンザ予防接種助成
予算編成方針と矛盾では

浅川 修一（日本共産党）



問 子どものインフルエンザ予防接種の助成実施を、繰り返し要望してきたが、財政上困難とのことでした。しかし、市長は今回の選挙公約の一つにインフルエンザ予防接種の助成を掲げ、所信表明ではこれまでの財政上の問題が全くないかのように、実施に向け検討するとなっていました。助成実施は高く評価するが、既存事業の見直しや財源の確保等をした上で新規事業を提案することとなっている予算編成方針と矛盾するのではないのか。

答 接種が義務づけられている、法定予防接種についても交付税措置のため、本市は全額市が負担しています。さらに任意接種を独自に実施することは財源的に難しいとの判断でした。現段階では子育て支援充実のため、限られた財源の有効活用を含め、新たな市民ニーズに対して、スクラップアンドビルドではなく、ビルドアンドスクラップの形で考え、新規に始めるために何を削ったらいいか、という形で考えています。

一般質問項目

①子育て支援の充実について ②科学教育の推進について ③立川駅南口のまちづくりについて ④行財政問題について

道路陥没対策
空洞調査の現状は

瀬 順弘（公明党）



問 一昨年、全国で発生した道路陥没1万件のうち約半分は、下水管劣化による空洞の発生が原因でした。本市の下水道は、整備から50年以上経過し、今後多くの空洞が発生することが予想されます。道路の陥没で、上下水道やガスなどのライフラインが大きな損傷を受けることもあり、防災・減災の視点からも調査が必要です。以前、空洞調査の実施を提案しましたが、その後の検討状況は。また、空洞調査は業者の技術力に差があるのではないのか。

答 路面下の空洞化は、定期的な調査が必要であると認識していますが、財源確保を含む費用面が課題です。平成30年度、過去に調査した路線の一部で再調査を行いました。その結果、前回調査から大きな変化は見られなかったことを勘案し、調査頻度や路線、財源等を検討します。技術力の差があることは把握しており、今後の調査の際は、他市の発注事例や技術コンペ方式等を研究して実施したいと考えています。

一般質問項目

①防災減災の取り組みについて ②学校教育の充実と教員の負担軽減について ③市内中小事業者について

高齢者肺炎球菌ワクチン
予防接種の助成制度

平成26年度から65歳での定期接種となった。ただし、平成30年度までの5年間限定で、70歳以上で5歳刻みの節目年齢者も対象としていた。しかし、未接種者が多く、限定措置が令和5年度まで延長された。



旧多摩川小学校

子どもショート
ステイ事業

保護者が病気、出産、入院等で、子どもの養育ができないとき、市内の養護施設で子どもを短期間あずかる事業。有料。

高齢者肺炎球菌ワクチン
一度限りの助成の確実な周知を

門倉 正子（公明党）



問 今年度から国の助成制度のみとなった高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種は、生涯一度だけの助成制度です。66歳以上の未接種者の機会確保のため、平成30年度までの経過措置がさらに5年間延長されました。市の独自助成制度は昨年度で終了し、この機会を逃がすと接種料8,391円全額が自己負担となります。対象者への確実な周知が必要です。今年度対象となる新65歳及び70歳以上の未接種者への周知方法について伺います。接種率向上に尽力を。

答 国の制度は、65歳、以降70、75と5歳刻み節目年齢の方を対象とした助成制度です。今年度65歳になる方には、氏名等の入った予診票を同封した勧奨通知を6月に個別に郵送しました。70歳以上の対象者の方にも同様に、予診票を同封した勧奨通知を11月ごろ個別に郵送したいと考えています。接種率向上に向け、来年度以降は年度当初の通知発送や広報等での周知、また医師会とも連携していきたい。

一般質問項目

①子どもの権利条約に基づく取り組みについて ②「心のバリアフリー」の理解に向けた取り組みについて ③高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種について

ドライブレコーダー
全庁用車に導入すべき

桑川 敏男（たちかわ自民党・安進会）



問 これまで全庁用車にドライブレコーダーを導入することを求めてきました。ドライブレコーダー導入のメリットとして、事故を起こしてしまったときの原因や、責任の所在が明確になることなどがあげられます。また、録画しているという点が防犯カメラがわりとなり、犯罪の抑止力となることも期待できます。全庁用車に導入したとすると、ドライブレコーダーを搭載した車は何台になるのか。導入の進捗状況について、お示しください。

答 ドライブレコーダーの導入の進捗状況は、事故等の抑止を含む庁用車の適正管理の一環として、全庁用車に導入したいと考えており、設置費用について、今議会に補正予算を提出する予定です。現在、庁用車は126台あります。そのうち既にドライブレコーダーを搭載済み、またはリース契約更新時等に導入予定というものが10台ありますので、116台分の設置費用を補正予算で計上しています。

一般質問項目

①若葉町のまちづくりについて ②立川市内の諸課題について

子どもショートステイ事業
事情に応じた柔軟な運営を

江口 元気（たちかわ自民党・安進会）



問 保護者が出産や入院等により、一時的に子どもの養育ができない場合に、児童養護施設に子どもを預けることができる子どもショートステイ事業は、6泊7日が上限であり、枠に空きがあったとしても延長できないとのことでした。しかし、保護者にもさまざまな事情があると考えられますので、事業の拡充や柔軟な運用はできないのか伺います。また、ファミリー・サポート・センターなど他の施策とも連携をすべきと考えますが、見解は。

答 子どもショートステイ事業は、交付金を受けており、国や都の子育て短期支援事業実施要綱で利用期間は7日以内、ただし必要最小限の範囲で延長できるとされています。通常は7日以内ですが、本事業の目的の児童と保護者の福祉の向上を図ることを理解いただいた上で、個別に対応していきます。また、相談者のニーズを把握し、ファミリー・サポート・センターなども紹介しながら支援していきます。

一般質問項目

①災害時のトイレについて ②暴力団追放宣言について ③プレミアム婚姻届について ④食品ロスについて ⑤子どもショートステイ事業について

栄緑地の管理
市民との連携協働を

対馬 ふみあき（たちかわ自民党・安進会）



問 9月の台風15号の後の豪雨で、落ち葉等で排水溝が詰まり、栄緑地の側道が15cmほど冠水しました。こうした事態がたびたび発生しており、近隣住民は不安を感じています。樹木の適正な管理で、こうした被害はなくなると考えます。栄緑地の管理を市民と連携協働で行うことについて、見解は。また、本市は都内一の植木生産量を誇っており、知識と経験を持つ植木生産組合と連携協働して、樹木の管理を行うことはできないのか伺います。

答 公園の樹木については、現在改定中の緑の基本計画の中で、樹木診断の実施等、樹木の適正な管理について協議しています。今後、この計画の中でしっかりと位置づけをしていきたい。栄緑地を含むすべての公園で、市民との連携協働が進むことは望ましいが、公園等清掃美化協力員会等の既存制度も十分活用したいと考えています。また、植木生産組合との協議や取り組みについては、検討していきたい。

一般質問項目

①立川市キャラクターの利活用について ②災害時における市道の道路使用について ③栄緑地の管理について